

2016年7月1日(金)

鉄鋼新聞(14)

JFEシビル九州支部が安全大会

米倉支店長「三本の幟旗で安全徹底」

JFEシビル九州支店(支店長・片岡 氏)は6月23日、福岡県二日市温泉の大丸別荘で、安全衛生協働会

部から、鈴木一秀安全衛生協働会会長(有村建設社長)も来福。安全最優先で、一丸となつてゼロ災害を達成することを確認した。

米倉九州支店長は「熊本地震に伴い、地区の施工会社は、労働力不足の状況になっている。今後は、事故の危険性が大きくなる可能性がある。現場で掲げている標語、三本の幟旗(『事前検討KY

連鎖を、何としても止めなければならぬ。最前線の方々に『三本の幟旗』を強く認識して頂きたい。そうすればかなりの災害は防げます。是非、その徹底をお願いしたい」と述べた。

片岡九州支店長は、熊本地震の影響について「被害が大きかったのは、昭和時代に建てられた間口の広い木造建て住宅。視察して感じたのは、プレハブメーカーの軽量鉄骨が最

『作業前の一呼吸ヨシ!』『声掛けヨシ!』を復唱して、日々の安全活動に取り組んでほしい」と呼びかけた。

安全交流会では、シビル(志、美、留)の法被を着た、浜組(岡山県玉野市)の濱数英社長が、福岡ではあまり見ることのない、江戸風の一本締めを披露して盛り上がった。



鈴木会長は「今年前半は、何らかの災害が発生している。災害発生の